

転貸融資が3割減少

第3四半期金融取扱実績

北保証サービス

北保証サービスは、2014年度第3四半期の金融事業取扱実績をまとめた。元請企業が利用する地域建設業経営強化融資制度（転貸融資）は、12億2315万円で前年同期比31・7%減となったが、上期と比較して大幅にマイナス幅が縮小した。

転貸融資制度は、元請企業が北保証サービスなど一定の民間事業者などに工事請負代金債権を譲渡し、譲渡した工

事の出来高に応じて金融機関から転貸融資を受けるもの。14年度第3四半期の取り扱件数は前年同期比14・1%減の67件だった。

発注者別の実績は、国が63・7%減の2億9694万円となり、独立行政法人等が93・8%減の780万円、都道府県が31・6%減の2億3226万円と減少している一方、市町村が35・8%増の6億8615万円と大きく伸びた。

月別では、資金需要がピークとなる12月は21件となり、過去5年間で最多となった。第4四半期の見通しは、既に1月は8億7000万円が確定しており、さらに拡大する見通しだ。

一方、下請企業が対象となる下請債権保全支援事業（保証ファクタリング）は14億6517万円、前年同期に比べ30・7%減少した。元請け

の倒産減少により与信管理への危機感が薄れていることなどが減少の要因とみている。

件数は前年同期比8・7%減の230件。内訳は個別保証の売掛金保証が4億7143万円、手形保証が7億5151万円、枠保証が2億4223万円となっている。